

気候  
変動

ストップ石炭火力発電

行動を

阪田 留菜さん(フライデーズ)インタビュー



11月6日、新宿駅南口で行なわれた行動でコールをリードする阪田さん

「熊谷市で観測史上最も高い41.1℃」「雲仙岳で24時間雨量が観測史上最大となる571.5mm」。近年、日本でもかつてなかった気候の変動が常態化しています。昨年10月31日から2週間、英国グラスゴーで国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)も開催されました。気候変動に危機を感じ、若者が立ち上がっています。フライデーズ・フォー・フューチャー・ジャパン(以下、フライデーズ)の阪田留菜(さかたなるな)さんに話を聞きました。

## 中、高、大学生と若い世代でカラフルにアピール

「フライデーズ・フォー・フューチャー」について教えてください。阪田さん スウェーデンでのこの活動はヨーロッパ中心に広がりました。日本では2019年2月、ある環境NGO(非政府組織)でインターン(非政府組織)でインターンをしてきた学生が中心になり、スタートしました。フライデーズでは、街頭での集会や経産省前での抗議行動、デモ行進などを行なってアピールしてきました。コロナ以降はツイッターデモを行なった

りしました。気候変動は深刻な問題ですが、フライデーズは中学生、高校生、大学生と若い人が活動の中心なので活動の見せ方は派手というか、カラフルな感じでわいわいアピールしています。SNSで「私も活動したいです」と来れば、「どうぞ、自由にアピールしましょう」という感じ。若い世代でバクと広がるなと手ごたえはあります。

### 水没したサッカー練習場

## 日常奪われて実感

「阪田さんが気候変動に関心を持ったきっかけとその後の活動ぶりを教えてください。」阪田さん 6歳ぐらいからサッカーをやっていました。高校時代の練習場だった江戸川の河川敷のグラウンドが、2019年秋の台風で水没し、1カ月ほど使用できず、サッカーの練習も体育祭もできませんでした。自分たちの楽しみ、日常を気候変動が奪うのだと実感しました。その後、フライデーズが気候変動を止

つている感じではないですが、フライデーズに加わりたい、自分の地元でも立ち上げたいという人は途切れないので、「誰かの心はつかんでいるな」と手ごたえはあります。



住友商事に対してバンングラデシュでの火力発電所建設を中止するように要請するフライデーズのメンバー

めようとテモをしているのを見て、「ああ、こんなふうな訴えや方があるのだ」と。それから1カ月半ほど、環境保全団体WWFジャパンの書籍や『気候カジノ』(ウィリアム・ノードハウス)を読んだり、学校の授業で勉強したうえで、フライデーズのデモの後のアフターパーティーに参加して、活動に加わりたいと伝えました。まだ高校生だったので大学生について回って、主にツイッターやインスタグラムの投稿を考えたりしていました。コロナ後

は、集会や金曜日に行なう国会前の行動に参加していません。国会前の行動では参加者は数人なのですが、私たちのスピーチを聞いてうなずいている警察官がいて「おっ」と思ったのを覚えています。

### 大学でも研究テーマに

「大学で、気候変動に関する勉強をしているのですが。阪田さん 気候変動について勉強できる大学をさがして、慶応大学総合政策学部に入りました。政府、企業、市民、NGOなどに気候変動対策をするアクター(関係者)がそれぞれいると思うのですが、その人たちが一緒に話し合うにはどのようにすればいいのかが、そのための仕組みづくりを大学での研究テーマとして考えています。」SNSなどのパッシングの経験はありますか。阪田さん たくさんあります。挑発するわけではありませんが、「一緒に国会前でスタンディングしませんか」とそういう人たちに訴えたいです。あの数が、国会前に集まったら、すごいことになると思うのです。ネットではなく、リアルで言われたことや友だちに言われたことを大事にして活動しようと思っています。

## 残念だったCOP26

### 日本政府は脱炭素に逆行

「昨年11月14日に、COP26は成果文書を採用し、閉幕しました。成果文書をどのように評価していますか。阪田さん COP26は「プレセッション大会」という

ところがあのように思っていたので、正直なところあまり期待していませんでした。とはいえ、世界が石炭火力発電に対して直視したところは評価できますが、日本は遅れ過ぎています。他の国は期限を示して「石炭をやめる」としているのに、日本は期限がありません。新規発電所を建設しようとして、脱炭素に逆行しています。日本政府はもっと危機感を感じてほしいです。COP26は全体としては、残念な内容だったと感じています。」原子力発電についてはどのように考えていますか。阪田さん フライデーズはむしろ脱原発という立場です。原発は人権侵害でもあるし、将来世代に残すツケも大きいからです。しかし気候変動問題は石炭火力が自然エネルギーかということで、原発はその土俵に乗っていない、別問題という扱いです。

## 「やめる」決断のとき

### すべての世代で声あげよう

「フライデーズの活動で、政治への働きかけをあげています。昨年の総選挙の結果をどのように見えていますか。阪田さん 今回が初めての投票でした。私は、特定の支持政党はありません。選挙結果というより選挙中から、全体的に見て、気候変動対策を優先に考えてくれている政治家がほとんどいないことにショックを受けました。政治家

は保身が一番なのでしょう。か。「気候変動対策は負担で、大変なのだ」というように認識しているのが間違っていると思います。気候変動によって何が起きているかを知ってほしい。「北極では氷が溶けてしまっている」とか、「白熊が住めるところが少なくなっている」でもいいのです。一人ひとりにとってその人の好きなことや好きな食べ物がきくと気候変動につながって

望みますか。阪田さん 気候変動に関心のない人には、まず知ってもらいたいです。気候変動によって何が起きているかを知ってほしい。「北極では氷が溶けてしまっている」とか、「白熊が住めるところが少なくなっている」でもいいのです。一人ひとりにとってその人の好きなことや好きな食べ物がきくと気候変動につながって

「今日は、お話をきかせていただき、ありがとうございました。」



阪田留菜さん

「今日は、お話をきかせていただき、ありがとうございました。」

「今日は、お話をきかせていただき、ありがとうございました。」

「今日は、お話をきかせていただき、ありがとうございました。」

「今日は、お話をきかせていただき、ありがとうございました。」